



思川だより

平成30年12月1日 第65号

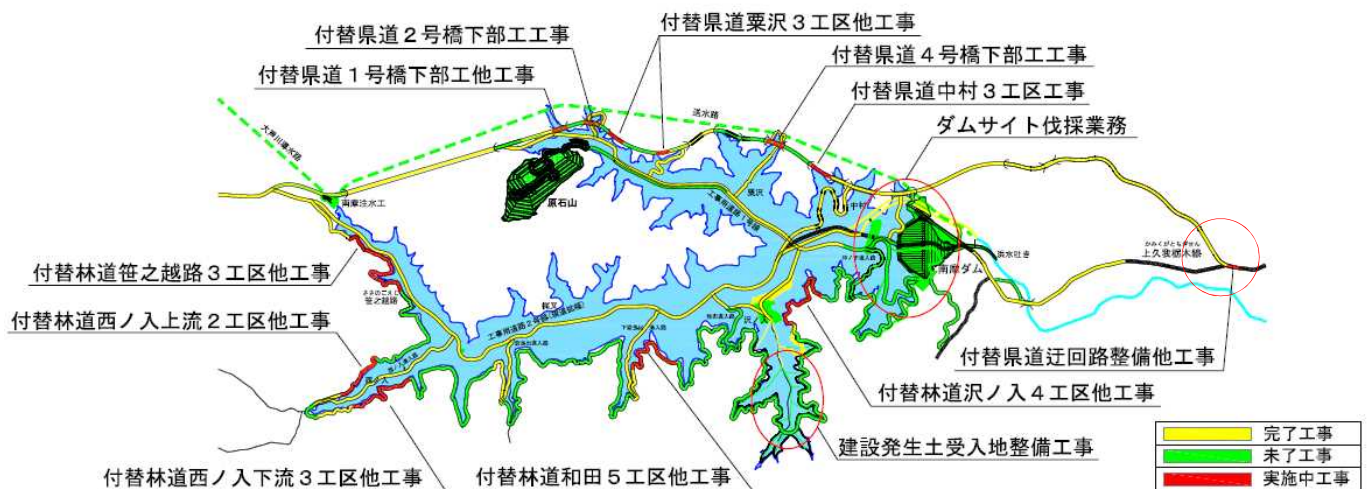


付替道路関連工事等の状況

現在、当建設所では付替道路関連工事を11件、ダム本体準備工事を2件、事業地内の維持補修工事を1件実施しています。

南摩ダム本体工事の着工に向け、10月からダム本体周辺の立木を伐採する作業や工事に伴い発生する残土を受け入れるための準備を実施しています。また、ダム本体工事により現県道の迂回路となる付替県道の一部区間開通を目的に実施している付替県道迂回路整備他工事も終盤を迎えています。

地域の皆様方にはご不便をおかけしておりますが、引き続き工事車両の通行など安全対策に万全を期して参りますので、ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。



主な工事等位置図（平成30年11月1日現在）



工事着手直後（平成30年7月）



形状変更後（平成30年11月）

交差点の形状変更（付替県道迂回路整備他工事）

事業監理協議会

10月23日（火）当建設所において利水者及び関係機関の方々に参加いただき、事業監理協議会を開催しました。この協議会の中で、南摩ダムのダムサイトや付替道路工事現場を見学するなど、事業の進捗を確認していただきました。今後とも適切な事業の進捗に努めて参ります。

上南摩そば祭り



11月18日（日）に上南摩そば祭りが開催されました。地元自治会、ダム対策委員会、水資源機構が後援しているお祭りで、地元の方々がその場で打った新そばを会場での食事用やお土産用の生そばとして提供しました。お年寄りからお子様まで幅広い年齢層のお客様が訪れ、上南摩そばの美味しさが世代を超えて受け継がれていく様子を感じることができました。午前10時の開始直後から食事用そばの受付には長い行列ができ、そばを食べた方からは満足そうな笑みがこぼれていました。上南摩そばの美味しさで来場者全員が繋がるような、あたたかいお祭りでした。



そばを打つ地元の方々

<ダムの種類>



ダムの豆知識 10

ダムの種類は大きく分けると、ダム本体をコンクリートでつくる「コンクリートダム」と、岩石や土を積み上げてつくる「フィルダム」の2つがあります。ダム本体にかかる水圧の支え方、ダムをつくる場所の地盤の強さなどによって型式が選定されます。

アーチ式コンクリートダム



矢木沢ダム（群馬県）

重力式コンクリートダム



浦山ダム（埼玉県）

ロックフィルダム



奈良俣ダム（群馬県）

アースダム



長柄ダム（千葉県）

コンクリートダムのうち、貯水池からの水圧を左右や下の地盤で支えるものを「アーチ式」、ダム自体の重さで支えるものを「重力式」といいます。

フィルダムは土を積み上げてつくる「アースダム」と水を通しにくい粘性土の壁を岩石や砂利などで支える「ロックフィルダム」があります。南摩ダムはロックフィルダムですが、粘性土の壁を造らずにダムの表面（貯水池側）にコンクリートを張り付ける珍しいダムで、近代的工法での本格的な施工は日本初です。

南摩ダム関連工事 安全安心会議（工事現場見学会）

11月11日（日）、上南摩町自治会との安全安心会議の一環として南摩ダム関連工事地内の現場見学会を実施しました。当日は天気にも恵まれ、現在、当建設所が進めている各種工事の現場を詳細に見学していただくことができました。参加者（15名）の方々からは「多くの工事が進んでおり驚いた」、「事故等に注意して引き続き安全に作業して欲しい」、「今後も工事を見学する場を設けて欲しい」といった声を頂戴しました。当建設所としても、今後、地元の皆様の安全と安心を確保するとともに、このような見学会を随時開催していきたいと考えております。



ダムサイトでの概要説明

環境学習会・生態系保全委員会

11月5日（月）に機構職員及び工事関係者を対象とした「環境学習会」を開催しました。今年度は、魚類の保全対策検討を目的に、湛水予定区域内に生息する魚類を試験的に採捕し、環境保全地に移殖を行いました。当日は、思川開発事業生態系保全委員会の魚類の専門家に指導助言をいただきながら、総勢35名が参加をし、魚類の生息状況や環境保全対策の取組に関する知識の向上を図りました。

また、11月12日（月）には「思川開発事業生態系保全委員会」の現地視察会を開催し、委員の先生方に工事における希少猛禽類への環境保全対策の実施状況や環境保全地（ビオトープ）等の整備後の状況等について確認いただき、今後の事業における具体的な環境保全対策について指導・助言がなされました。



採捕対象のホトケドジョウ



生態系保全委員会による環境保全整備状況確認

上南摩の動植物



和名：コオイムシ（カメムシ目 コオイムシ科）

分布：平地の水田や水路、浅水の沼地など、開放水域に生息する。

○環境省：準絶滅危惧、栃木県：準絶滅危惧（Cランク）

個体数は少ないが、北海道から本州、四国、九州、朝鮮半島、中国にかけて分布するカメムシ目の虫です。栃木県では那須町、那須塩原市、大田原市、高根沢町、宇都宮市で生息が確認されています。

成虫は体長17～22mm。初夏にメスはオスの背に卵塊を産み、オスはそれを保護します。名前の由来は、このオスの姿から「子を負う虫」より「コオイムシ」とされる説があります。思川では、環境保全地内の水路で泳ぐコオイムシが確認されています。（出典：レッドデータブックとちぎ、（2018）、思川開発自然環境調査報告書）

再発見！鹿沼の魅力（第10回）

ふるみねじんじゃ

【古峯神社の天狗と御朱印】

古峯神社は、鹿沼インターから車で約70分、途中何軒かのそば屋を横目に大鳥居をくぐったら到着です。

古峯神社は、標高約700メートルの鹿沼市草久古峯ヶ原こぶがはらにあります。1300余年の昔、藤原隼人ふじわらは やとなる人物が神徳を慕いご祭神として日本武尊やまとたけるのみことの神霊をこの地に祀ったと伝えられており、家内安全・商売繁盛・交通安全・当病平癒・身体健全などの御利益があると言われています。古峯神社は天狗信仰があり、境内には大小様々な天狗様が飾られています。

天狗の描かれた御朱印が約30種類有り、その時々で、趣のある御朱印（500円）がいただけます。

人気の御朱印をいただきに一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。



古峯神社の参道



大人気の御朱印

思川散策

＜思わずいきたくなる思川＞を発見する「思川散策」。

今回は道と川の百選のひとつ「渡良瀬遊水地」をピックアップ！

栃木、群馬、埼玉、茨城の4県にまたがる本州最大の遊水地『^{わたらせ}渡良瀬遊水地』

3つのオススメポイント！

☆渡良瀬遊水地ウォッチングタワーからの眺めは絶景！

軽い運動を兼ね、67段の階段を登った後のウォッチングタワー頂上からの眺めは絶景でした。

☆バードウォッチングが熱い！

鷹の仲間であるチュウヒはここ一帯に広がる葦原をねぐらにしており、11月～3月の間に見ることができるよう。運が良ければ珍しいハイイロチュウヒにも出会えるらしく、平日にも関わらず多くの方が野鳥観察をされていました。

☆付近に思川と渡良瀬川の合流点！

合流点の周辺一帯には葦が広がっており素敵な風情でした。

みなさんもぜひ、渡良瀬遊水地を訪れてみてはいかがでしょうか？



水面が美しく輝いていました



ハート型の貯水池としても有名です



お出迎えはチュウヒの看板



葦が広がる風情豊かな光景

下

野

か

る

た

より

栃木県内の地元かるたを用いて、様々な歴史・文物を紹介するこのコーナー。

引き続き、『^{しもづけ}下野かるた』（栃木県文化協会発行）からの紹介です。

＜平家ゆかりの湯西川＞

これから寒くなるにつれて、温泉シーズンの到来ですね！今号では、下野かるたより湯西川溪谷沿いの「湯西川温泉」をご紹介します。

栃木県の秘境、栗山村(現在は日光市)は鬼怒川沿いと湯西川沿いに集落が分かれ、それぞれに平家の落人伝説が残されており、ひなびた情緒が観光客の人気を集めているそうです。旅館で出される料理も平家そばや落人鍋など独特で、平家が登場するのが特徴です。



編集後記

12月はクリスマスや年越しといったイベントが控え、胸を躍らせている方も大掃除のことで気が重くなっている方もいらっしゃると思います。

皆さまの年末がより良いものになりますよう、お祈りを申し上げます。

良いお年をお迎えください。

お知らせ

▼思川開発建設所では、現場案内を随時開催しています！詳しくはお電話またはHPをご覧ください！

▼「思川だより」に関するご意見・ご要望を募集しています！お気軽に下記連絡先までお寄せ下さい！

編集・発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

T e l (0289) 85-1110 F a x (0289) 85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.htm>

思川開発

検索

